

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

担当支部	北海道支部	(2)記載者氏名: 海川 敏雄	会員番号:	10981	事務局整理記入欄	北海道 - 174
分水嶺区分	480m地点～H230親岳～H229袴腰岳		(3)山行日:	2005年 5月 1日	(4)天候	曇り

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

海川敏雄	10981					
片岡次雄	12093					
計			2名			計 名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:		H229袴腰岳～643m～382m～H230親岳											
アプローチ:		函館～R228～木古内町～道道R5～トンガリ林道											
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	林道入口ゲート前	神明	140	19	35.5	41	41	41.6	62		5:40		
分水嶺到達点	480m地点	神明	140	16	55.2	41	40	52.2	480	8:05	8:10	B-4	(9)-1
H229	袴腰岳699.1m	湯の里	140	16	53.0	41	39	31.2	701	8:40	8:50	B-4	(9)-1
	643m	湯の里	140	16	15.8	41	39	24.4	641	9:30	9:35	B-4	(9)-1
	382m	湯の里	140	15	14.7	41	38	58.6	381	11:05	11:10	B-4	(9)-1・2
H230	ミナゴヤ林道	湯の里	140	14	59.7	41	38	37.5	352	11:45	11:50	B-4	(9)-1
	親岳695m	七ツ岳	140	14	18.1	41	38	9.8	697	12:50	12:55	B-4	(9)-1
分水嶺離別点	480m地点	神明	140	16	55.2	41	40	52.2	480	16:20	16:20	B-4	(9)-1
歩行終了点	林道入口ゲート前	神明	140	19	35.5	41	41	41.6	62	18:10			
総歩行時間(休憩時間を除く):												11時間30分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H229	袴腰岳				積雪のため三角点は発見できなかった。積雪約60cm 一部藪露出

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

なし

(9)水および植生に関連した特記事項

1.ほとんどがブナとタケカンパで、中には直径が1mを超えるような巨木が数多く見られる。 2.382m地点の南面下には、雪解け水によって湿地帯が形成され、沼にはエゾノリュウキンカとミズバショウが色鮮やかに咲いていた。

(10)その他の特記事項

道道R5のトンガリ林道のゲート前に駐車。林道を進み、道がヘアピンカーブする地点から尾根に取り付き分水嶺へ。その後、「袴腰岳 643m 382m ミナゴヤ林道の最高到達地点 親岳」へと進み、親岳から引き返し、往路のトレースをたどりながら駐車地点へ。融雪が進み、尾根上のあちこちに藪が露出しており、藪漕ぎに時間を取られたが、雪が消えた分だけ林道歩きが楽になり、思っていた以上に距離を伸ばすことができた。雪上にコブシが花を咲かせ、雪の解けたすそ野にはマンサクが咲き始めている。カタクリやキクザキイチゲが満開で、冬は確実に去った…ことを感じた。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
